社会福祉法人
大念仏寺
社会事業団

★ポ・ドーム大念仏
★いちょう保育園
★大念仏乳児院
★いちょうベビーセンター
★ひらのドリーム園
★南生野いちょう保育園

季刊誌　つぼみ
第28号

第28号
平成27(2015)年10月1日
発行所　社会福祉法人
大念仏寺社会事業団
発行人　理事長　杉田善久
編集協力
藤森雄介　淑徳大学
国際コミュニケーション学部
渡邊義昭　淑徳大学　総合福祉学部

いちょう保育園

プール開き

プール開きの日は園庭いっぱいに夏の遊びコーナがいくつもセッティングされ、子ども達のワクワク感が増します。砂山は毎年恒例。今年は砂の中に玩具がかくされており、ちょっとした“宝さがし”を楽しみました。スコップで掘り当てると「あったー!あったー!」と満面の笑みでした。この夏、みんな真っ黒に日焼けしましたよ。

伝承遊び

9月21日の敬老の日にちなんでおじいさん、おばあさんにおこしいただいて「伝承遊び」をしました。折り紙、紙飛行機、紙鉄砲、将棋、オセロ、こま、あやとりのコーナーで昔ながらの遊びを優しく教えて頂いたり、一緒に遊んでもらったりと、とても嬉しそうでした。近頃では、ほとんど見られなくなった遊びの継承という貴重な時間を作って頂きました。遊びの後は、みんなで輪になって踊ったり、竹、松組は合奏、手話歌などの発表もみんなでもらったりしました。みんなが笑顔になった楽しいひとときでした。

お泊まり会

期待もあれば、不安もあり…といろいろな思いで臨んだ一泊保育。カレー作りに宝探し、キャンプファイヤー…と盛り沢山の催しを満喫し、終わってみれば、どの子もわずか一泊のことなのに大きく成長したように感じました。

野菜村

野菜村へ行き、夏の花を見たり、野菜の収穫をしたりして自然を肌で感じ楽しみました。

特にひまわりの背の高さや冬瓜の大きさには「めっちゃ大きい〜!」と、とても驚いてはしゃいでいた子ども達でした。

造形あそび

造形あそびが大好きな子ども達です!今回は、園庭いっぱいに透明のシートをはりつめて絵の具でダイナミックに描き始めました。テーマは海!　魚、サメ、クジラ、クラゲ、タコなど海の生き物であっという間にシートがいっぱいになり、まだまだ描き足りないようでした。地面に魚の影がうつり、シートが風に揺れるたびに魚が泳いでいるようでした。お迎えの保護者の方も「楽しそうだね」「お母さんもやりたかった」と声をかけてらっしゃいました。

食育「ほうれん草ケーキ」

楽しいおやつの時間です。ほうれん草ケーキにホイップクリームで飾り付けをしました。ギュッと力を入れてチューブからクリームを絞り出し、ケーキの上に飾ることが出来ました。おいしそうでしょう!いただきま〜す。

絵の具遊び

ローラーを大きな画用紙に大きく動かしてダイナミックに描いたり、ビー玉に絵の具をつけて紙の上で転がし模様をつけたり、フィンガーペイントで自由に絵を描いたりと夏ならではの絵の具あそびを楽しみました。

〜　もくじ　〜
1面　いちょう保育園
2面　いちょうベビーセンター・大念仏乳児院・ひらのドリーム園
3面　南生野いちょう保育園・ポ・ドーム大念仏・ドレミ・南生野いちょう保育園子育て支援センター
4面　ご寄附・ご寄贈者・事業団・つぼみ通信(いちょうベビーセンター)・編集後記

ご寄附・ご寄贈者

みなさまのご厚情心より御礼申し上げます
平成27年7月から平成27年9月まで
順不同、敬称を略させていただきました。

【大念仏寺社会事業団共通】

西瓜4玉
金5000円
お菓子詰め合わせ10箱
ヤクルト420本

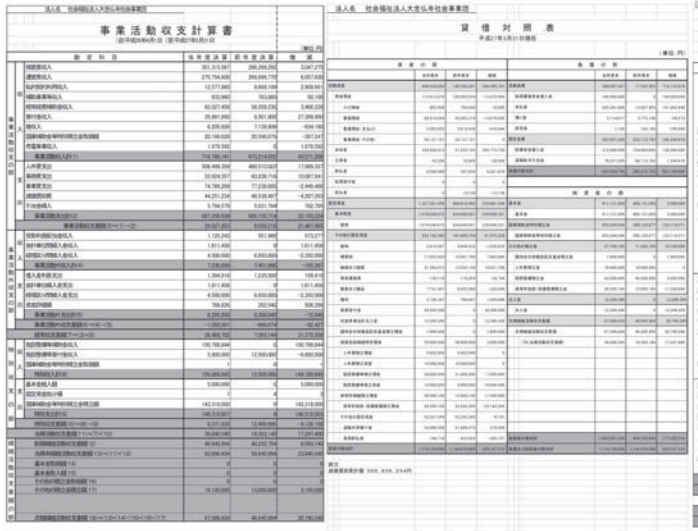
松本春昭
東住吉句会
平池正則
ヤクルト平野センター

【ポ・ドーム大念仏】

アイスクリームもなか114個
じゃがいも1箱
野球観戦チケット19枚
スポーツドリンク780本・
スコール150本
クルーソックス100足
岸和田だんじり祭招待チケット11名・
Tシャツ
関西コレクション2015招待8名

かざみどり風流
鈴木美也子
(株)ガイア
泥堂町　竹内秀宏

(株)チュチュアンナ
岸和田だんじり祭観光協会
一二三興行有限会社
リンクアドバンス(株)



つぼみ通信

娘が二人目を6月に出産。半年のアシストのつもりで、この4月から初孫のももちゃんをベビーセンターに送り迎えしています。幸い孫はすぐに馴染んでくれ、片言で「よしだせんせ」とつぶやきながら、ご機嫌で自転車に乗る毎朝が始まりました。その昔0歳から我が子を見て頂いた山口先生・高田先生やママの担任脇田先生から笑顔で声を掛けて頂き大いに安心しました。息子がお世話になった米澤先生が園長先生になっておられ園への信頼感をいっそう強くしております。職員の皆様には日々温かく見守って頂き有難うございます。

4月を境にももちゃんは目覚ましく成長。靴を一人ではき、おむつも外れ、父親参観のパパも、自分で着替え、給食を食べている姿に感動していました。喜連からのやや長い道中が、歌ったりお話したり、孫との貴重な触れ合いの時間です。自転車で遠出する景色は珍しく、春は平野の街並みを抜ける時、「これは?」、「これは?」と次々とお店屋さんを指差して尋ねていました。夏の帰り道は大念仏寺を裏から抜けて、畑の作物やハスの花を見に行きました。大きな冬瓜がぶら下がっているのを見て「どんぶらっこ」と言ったのには笑いました。今日は街角を曲がった時「ハロウィンあったよ。：・商店街。化粧品のとこ」と言うので、Uターンすると確かにかぼちゃが飾ってありました。流れる景色の一瞬に「しょうてんがい」という言葉を思い出して遣えたことを嬉しそうにしていたのがわかりました。爆発的な言葉の成長に驚き感心するこの半年です。

ベビーセンターきりん組
保護者(祖父)　白川　義夫

編集委員会手帳

南生野いちょう保育園が出来て早半年が経ちます。季刊誌の記事のやり取りもメールを使って行なっています。

季刊誌掲載のために南生野いちょう保育園から送られてくる写真は、どれも子どもたちがいきいきとした表情の写真ばかりなので楽しくなってきます。毎号一番に見ることが出来る楽しみが増えました。

ひらのドリーム園　M

お知らせ

各施設にご意見箱（きっくん）を設置しています。ぜひご活用下さい。

【お問い合わせ先】
社会福祉法人
大念仏寺社会事業団
広報編集委員会
〒547-0045
大阪市平野区平野上町1丁目7番3号
TEL　(06)6791−5410
FAX　(06)6791−7774
URL http://www.dsw.or.jp/